

2009学校説明会での質疑応答について

質疑応答の時間、個別の質問、アンケートにおいて多くの有意義なご質問をいただきありがとうございました。  
内容が重複する複数の質問に対しては、回答をまとめさせていただきます。

No	質問	回答
1	単位制導入後の効果は、どんなことを期待しているか？	単位制の導入によって教員数が増加します。そのため、35人学級を実現できました。35人学級によって密度の濃い授業展開ができています。また、カリキュラムが充実し、選択教科がバラエティに富んでいるため、より生徒の進路目標実現に近づいていけると期待しています。特に3年生では半年単位で選択ができ、より多様な大学受験に対応できるものと考えています。
2	今後の進路状況の見通しは？	生徒ひとりひとりの進路目標を達成することを目指しています。数値目標の達成のみが成果だとすることには違和感がありますが、国公立大学30名以上、東北学院大150名以上を目標に取り組んでいきます。
3	留学制度への対応はどのようになっていますか？	基金留学以外の長期の留学については、①休学して留学する場合、②現地高校での取得単位を認定し進級・卒業をする場合、と2通りあります。
4	全校生徒による7項目の授業評価とは？	各教師が生徒から授業評価を受けております。内容の理解、指示の明確さ、予習・復習への意欲、達成感などの各項目を5段階評価されます。結果は生徒に公表し、教員も授業の充実に役立てています。その他、宮教大と連携した授業研究や文科省指定の英語指導法の研究を継続して、教員の授業力の向上を目指しています。
5	入試の際の男女枠はあるか？バランスは？	男女枠は設けておりません。現在は結果として男女比は半々です。
6	部活動推薦や入試の際の優遇はあるか？	ありません。入試ではすべての受験生を同じ観点で評価し、総合的に判断しております。
7	推薦入試の内容は何ですか？	今年度に関してはまだ決定しておりませんが、昨年度までは面接・作文・調査書から総合的に判断しておりました。
8	部活動が厳しいと聞いていますが、勉強との両立はできるのでしょうか？	活動が厳しいのは事実です。特に、全国大会出場や上位進出など高い目標を持って取り組んでいる部を希望する場合は、様々な覚悟が必要です。ただ厳しい部ほど学習との両立ができており、進路達成率も高い状況です。考査前1週間は部活動を停止し学習に専念させるなどの配慮もしています。興味のある部活動がある場合は、中学校の先生や先輩を通じて練習見学をするなど、事前に活動方針や内容を知っておくと良いです。
9	不登校の生徒はいるか？その対応は？	状況は様々ですが、数名が自分とじっくり向き合う時間を過ごしています。対応としては、まず本人の心にしっかりと寄り添い、家庭との連携はもちろん、スクールカウンセラーや医療機関、関係諸機関との適切な連携をとっております。
10	活気ある学校のように、おとなしい子でもやっていますか？	多様な生徒がいるのが学校です。すべての生徒が個性に応じて生き生きと活動しています。まず本人がオープンスクールなどで実際に見て、学校の雰囲気を感じて決めていただければよいと思います。
11	モチベーションの下がっている生徒への対応は？格差が拡大しないか？	担任との個別面談を定期的にかつ細やかに行っております。目標を見失いがちな生徒にこそ、ご家庭と連携しながらしっかりと寄り添う指導を心がけております。またスクールカウンセラーや養護教諭も細やかに心のケアを進めております。
12	大学推薦指定校があれば教えてください。	若干の状況の変動はありますが、昨年度は県内外の大学・短大127校から指定校推薦をいただいております。
13	単位制とは、合格点に達しない場合の再テストはあるか？留年はあるか？	単位認定のための追指導は行います。その結果によって単位認定の可否が決まります。進級時に留年という措置はありませんが、最終的に卒業単位が不足となった場合は、卒業認定を受けるまで卒業延期という措置となります。
14	不登校、自殺などの過去1年の状況は？	すべてが不登校ではありませんが、学校外で自分と向き合う時間を設ける生徒は、数名おります。また命に関わる重大な事案は起こっておりません。
15	いろいろな検定や資格試験などはどのようになっているのでしょうか？	学校が窓口となって行っている検定試験は、英語検定・パソコン検定があります。
16	3年生の選択授業が多くありますが、すべて対応可能でしょうか？35人制は守れるのでしょうか？	選択希望者があまりにも少人数で、他科目への移動が可能な場合は検討を要することもあります。すべてに対応することを原則とするのが、単位制のメリットだと考えております。また学級単位での授業の35人制は維持していきます。学年が上がるにしたがって、選択が細分化されていきますので、少人数授業が実現すると考えております。
17	部活動をしない生徒や、部活動に熱心でない生徒が浮いてしまうことはないか？	各自がどのような目標や意識を持って生活しているかが大事になるとは思いますが、部活動をしていない生徒も元気に学校生活を楽しんでいます。